



## 言葉の力

秋晴れの青く澄んだ空は高く、木々の緑が織りなす山々の美しい模様がとても間近に感じられます。その模様に、日ごとに赤や黄色が加わり、秋の装いへと移り変わっていく風景に心が躍ります。

10月8日に開催しましたスポーツフェスティバルでは、多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。競技や演技が終わった後の子どもたちの満足そうな表情には、精一杯力を出し切った達成感や充実感があふれていました。また、保護者の皆様から、心温まる感想や貴重なご意見をいただきましたことに、心より感謝いたします。今、子どもたちは学習発表会という次の目標に向かって頑張っています。11月5日には、今まで学習してきたことの一部ではありますがお見せできればと思います。

さて、本校では「言語活動を通して学び合う授業づくり」を研究主題に読書活動や国語学習に力を入れています。先日、2年生のクラスで授業研究会を行いました。国語の「お手紙」という教材で、子どもたちは、登場人物の会話から気持ちを読み取り、授業の最後では読み取った気持ちを込め、その役になりきって音読を発表していました。多くの教師が見ている中でも、ひるむことなく進んで自分の考えを発表している子どもたちや、みんなの前で音読をしたいと一生懸命手を挙げている子どもたちの生き生きとした姿を見て、楽しく学習することの大切さを改めて感じました。子どもたちには、自分の考えや思いを言葉にしたり、様々な気持ちを言葉にのせて表現したりすることとおして、一つ一つの言葉が持つ力の大きさを学んでほしいと思います。「お手紙」という物語は、手紙を一度ももらったことがないと悲しむがまがえるくんに、友達のかえるくんが手紙を出すというお話です。

「しんあいなる がまがえるくん。ぼくは きみがぼくのしんゆうであることをうれしくおもっています。 きみのしんゆう、かえる」

これは、かえるくんが書いた手紙です。友達を思う優しい気持ちがあふれています。相手のことを大切に考えて表した言葉や文章は、優しさやぬくもり、愛情に包まれるのだとこの手紙は教えてくれているように思います。

11月は人権旬間の取り組みが始まります。児童会では、クラスごとに「ふわふわことば」を集めようと呼びかけています。日に日に寒さの訪れを感じますが、心はぽかぽかあたたかくなるよう、優しさに包まれた言葉が校舎にあふれることを願っています。



亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

**虫たちの世界をのぞいてみよう！！[3年]**  
「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」として、京都工芸繊維大学から齊藤準先生にお越しいただき、虫の生態について学習しました。  
生きた虫や標本をご用意いただき、紹介と解説をしていただきました。珍しい虫たちに3年生は興味津々。色々な質問をしながら、楽しく学ぶことができました。



**【お知らせ】**  
**「サイエンスフェスタ」開催！！**  
日時：11月23日(水・祝)  
場所：ギャラリーかめおか  
主催：亀岡市  
亀岡市教育委員会  
詳しくはQRコードを読み取ってください。

